

## 【大学間協定留学】 留学近況報告書

記入日	2023年 11月 8日
留学先大学	リヨン政治学院（日本語名） Sciences Po Lyon（現地言語名）
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名（日本語）： （現地言語での名称）：DFES  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他：
留学期間	2023年8月－2024年1月
明治大学の所属学部等	政治経済学部地域行政学科（学部/学科/研究科/専攻等）
学年（出発時の本学での学年）	2年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

フランスやその他ヨーロッパの国々に詳しい知人に話を聞いた。また、過去の留学報告書を読み込んだ。フランスは他の国に比べて手続き等の連絡が遅く、その中でもリヨン政治学院は群を抜いて遅い。覚悟はしていたが、他の国に留学に行く友達が履修登録をしている中、自分はまだ協定校への出願すら完了していないという状況はかなり不安だった。（今年度は5/15-31に出願で、6/4に受け入れ許可証が届いた）とにかく気長に待つ精神が必要。

## II-1. 留学のための渡航前手続き（留学ビザ） ※詳細に記入して下さい

ビザの種類：学生ビザ	申請先：在日フランス大使館
ビザ取得所要日数：3週間 （申請してから何日/週間要したか）	ビザ取得費用：23706円（現地でビザの有効化を行った際にさらに追加で50ユーロ必要）
<b>1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？</b>	
長期ビザ申請書（オンラインで作成した書類をコピーして持参）、パスポート、パスポートの書類、住居証明、証明写真1枚（背景白）、ビザ申請料金（50ユーロまたは相当の日本円）、受け入れ許可証、銀行残高証明書（英語）、レターパック（住所や氏名等記載の上）	
<b>2. 具体的な申し込み手順を教えてください。</b>	
まずキャンパスフランスのアカウントを作り、そこでお金を支払う必要がある。その後留学先から受け入れ許可証が届いたら書類を作成し、そのほかの必要書類と共に大使館へ行く。	
<b>3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか？</b>	
面接はありません。	
<b>4. ビザ取得に関して困った点・注意点</b>	
大使館にビザを申請するときには事前に予約が必要だが、水曜日の午前中のみ学生は予約をしていなくてもビザ申請が可能。（リヨン政治学院から入学許可証が届いた際、大使館の予約は9月中旬まで埋まっていた）また、今年度から住居証明が求められるようになったが、フランスでは基本的にビザを取得していないと住居を借りることができない。私はAirbnbを3ヶ月間借りて証明書を入手し、キャンセル無料期間にキャンセルした。ビザの申請料金を日本円で持っていく場合、お釣りがないように持参すべきである。銀行残高証明書は入手するのに時間を有するため、入学許可証が届く前に申請しておくことをお勧めする。多くの書類の提出が求められるが、とりあえず必要だと思われるものは全て持参し窓口で提出する。（窓口で持参した書類の中から必要な物だけを抜き取ってもらえるので、迷ったら全て持って行った方がよい）	

## II-2. 留学のための渡航前手続き（その他の事前準備について）

## その他済ませておくべき準備があればお書き下さい（現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送など）

SMERRA という保険会社の学生住宅保険に日本で加入し、コピーを持参した。

現金は 100€と、もしもの時のために 10 万円日本円を持って行った。クレジットカードは自分のものと、自分名義の家族カード（キャッシング可能、上限もかなり高い）の 2 枚で生活している。基本的には自分のクレジットカードを持ち歩き、家族カードは旅行の予約や家賃を支払う時のみ使用している。（家賃は銀行口座を開設していないため、オーナーと話し合っで現金で支払っている。送金するよりキャッシングした方が手数料が安い。）楽天カードは SNCF などの海外サイトを利用すると、セキュリティロックがかかるので注意が必要。フランスでは基本的にどの店でもクレジットカードで決済ができるが、マーケット等でたまに現金しか使えない時がある。

Caf は申請してから受け取るまでかなり時間と手間がかかり、私の場合月 94€しかもらえないことがわかっていたため、申請しなかった。（5ヶ月滞在の場合、もらえたとしても3ヶ月分）もし申請するなら、戸籍謄本を持って行き、現地で銀行口座を開設する必要がある。

荷物はスーツケース1つとバックパックで行った。変換プラグ、コンタクト用品、自分に合った薬は現地で調達することが難しいため持参することをお勧めする。またリヨンは想像以上に乾燥しているので、使い慣れたスキンケアやヘアオイルも持っていくと良いと思う。フランス語の文法書と入試で使った世界史の参考書は重かったがとても役に立っている。

## III. 現地到着後のながれ

## 1. 到着時の様子

利用航空会社	エミレーツ航空				
航空券手配方法	HIS ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入				
大学最寄空港名	サンテックジュペリ空港	現地到着時刻	13:50		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 ( <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他 ( )
移動の所要時間					
空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等					

大学到着日 8月31日 時頃

## 2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方：9月4日から入居可能だった。	
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他 ( )
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他 ( )
ルームメイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生	<input type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input type="checkbox"/> その他 ( )
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の申込み手順	入国翌日に実際にアパートを訪れ、オーナーの方と私の前に住んでいた方と共に入居の手続きを行なった。住宅保険の書類を渡したり、住居証明を書いてもらったりした。		

## 住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

CROUS は日本人は入れないと思っていた方が良い。私は6ヶ月未満の滞在で、部屋を探し始めた時がフランスのバカンスと重なっていたので、見つかるのにとっても苦労した。最終的には Facebook でフランス人オーナーが日本人だけに貸している部屋を見つけ、入居することができた。Facebook を使うとすぐに見つかったが、途中で詐欺に遭いかけたので注意が必要。保証人を求められる場合は、フランス政府の保証制度を利用できる。ビザが届いたらすぐに申請することをお勧めする。

3. 留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	9月13日
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料（金額： ）
内容の様子は？	大学の施設についてや履修登録の方法、留学中の注意事項（危険な区域など）を説明された。
留学生用特別ガイド	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月18日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて	
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？	オンラインで入国から3ヶ月以内にビザの有効化が必要。必要項目を入国し、最後に50ユーロ支払う。
2. その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？	特にありません。
3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？	5か月滞在のため、開設しなかった。
4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？	freeというSIMをfreeの店舗にある機械で購入した。周りの留学生もこの会社のSIMを使っている人が多い。購入するまでの数日はahamoのサービスで問題なくWi-Fiは使えた。スマホを2つ持って行き、日本のSIMは普段持ち歩かない方のスマホに入れ、フランスと日本両方の電話番号を使えるようにしている。
V. 履修科目と授業について	
1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？	<input type="checkbox"/> 出発前に（ 月 日頃） <input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 志願書類に記入して登録 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 到着後に（10月1日頃） <input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 国際オフィス等の仲介 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他（ ）
登録時に留学生として優先されることはありましたか？	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった
優先が「あった」方はどのように優先されましたか？	
優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？	留学生のみが在籍するコースであるため、特に個人的に何か優先されることはなかった。全員希望通りの授業が履修できる。
2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？	

**Ⅵ. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。**

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00		授業②	フランス語 授業				
9:00		授業②	フランス語 授業				
10:00	授業①	授業①	フランス語 授業				
11:00	授業①	授業①	フランス語 授業				
12:00	授業①	授業①					
13:00					フランス語 授業		
14:00					フランス語 授業		
15:00					フランス語 授業		
16:00				授業⑤	フランス語 授業		
17:00				授業⑤			
18:00	日本語の授 業	授業④		日本語の授 業			
19:00	日本語の授 業	授業④		日本語の授 業			
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
24:00							

**VII. 現在までの感想****留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。**

9月4日から2週間、任意参加のフランス語の授業を履修しました。300€支払う必要はありますが、本格的に授業が始まる前にさまざまな国の留学生と仲良くなることができ、良い経験になりました。DFESのコースを申し込む場合、授業数はかなり限られているため全員同じ授業を申し込むことになります。DFESは半期しか履修できないので、その点1年間留学を予定している人は注意が必要です。フランス語初級のクラスでは、コミュニケーションを中心としており、生活に必要なフランス語を学ぶことができます。しかし文法等は触れないため、あらかじめ日本から持っていった文法書が役に立っています。授業は英語で行われ、教授によって授業のスタイルや試験・評価基準はかなり違うと思います。また、現地の日本語の授業にチューターとして参加し、日本が大好きなフランス人学生と多く出会うことができました。

**留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。**

リオンはとてもコンパクトで景色もよく、生活しやすいと日々感じています。治安も実際生活してみると、想像よりもはるか良いことに気づきました。（夜遅くに一人で出かけることと、危険な区域に近づかないことだけ気をつけていれば大丈夫だと思います）また立地もとても良いため、週末は違う都市にでかけたり、スイスに旅行に行ったりしています。

日常生活について述べると、言語の壁はありますが、毎日とても楽しく有意義な生活を送っています。私は英語も自信がなく第二外国語もフランス語ではなかったため、言語面はかなり心配していました。もちろんもっと話せたら楽しいのに、と思うことはありますが、積極的にコミュニケーションを取ろうという姿勢を示すことが1番だと感じます。